

アジアの街角

スマトラ沖地震その後

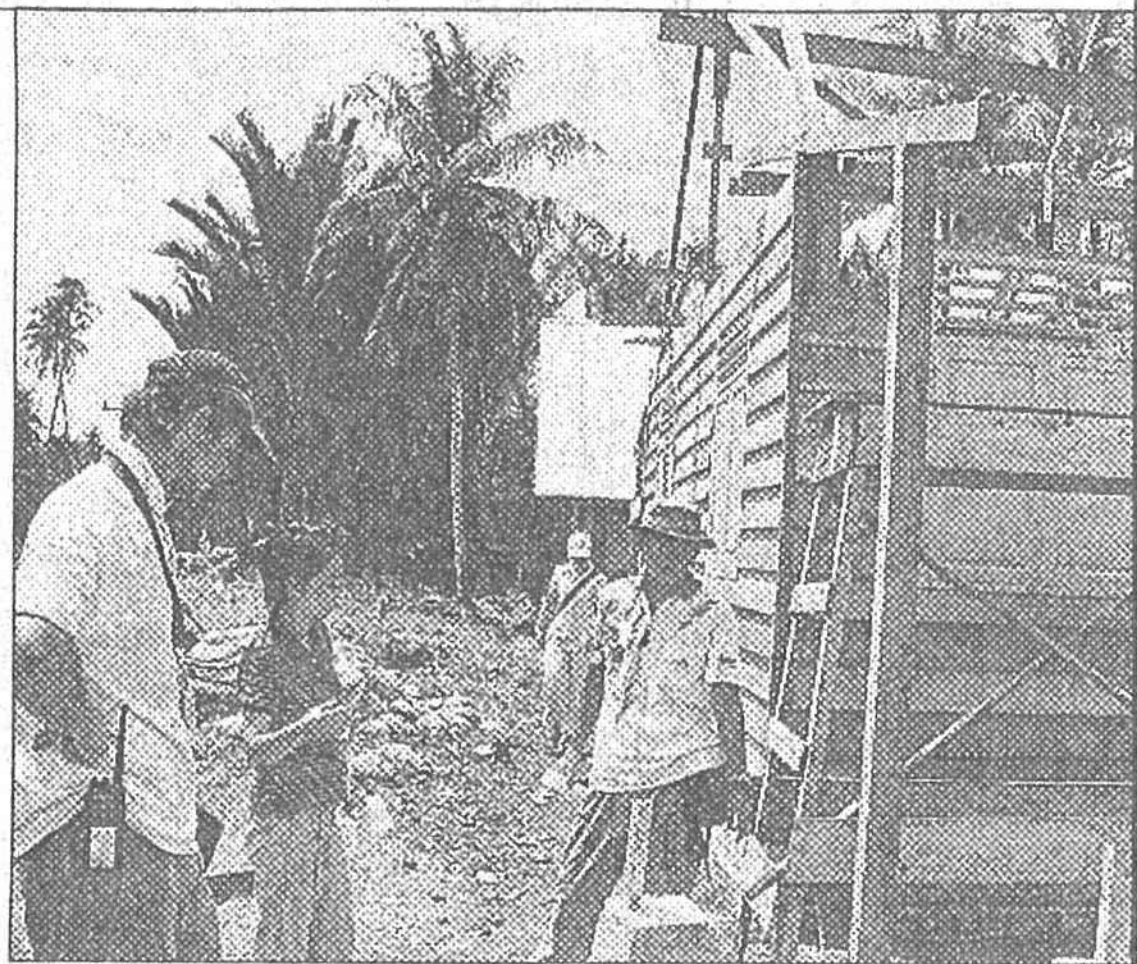
ニアス島④

<インドネシア>

グヌンシトリから車で約1時間半のボジホナ村で、日本のNGO「AMD A」(岡山市)が仮設住宅を建設している＝写真。人口1118人。村の半数近くに相当する95世帯の住宅が、全壊または倒壊の危険ありと判定されたという。

村の目抜き通りを抜け、波打ち際に出ると砂に埋もれた井戸があった。砂浜からところどころ住宅の柱や土台がのぞく。「地震前はここあたりまで家がありました。海岸線は数百メートルも沖だったそうです」と出水幸司さん(33)。

日本から来た7人と現地採用の職員約30人、大工20人で仕事を進めている。住民が自分の住む仮設建設を手伝うと、約3万円を3回に分けて手にすることができる。フィウガスフィさん(53)の仮設も



「日本の家」人気に

もうすぐ完成する。

「日本の家は頑丈だね。できあがりを楽しみだ」

屋根用のトタンには「日本国民から」と刻印され、「さびない屋根」として住民の人気が高い。